

## 学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」  
をハードウェアから開発する - グループ名： Group3

担当教員名： 三上貞芳，高橋信行，鈴木昭二 学籍番号 b1018225 氏名 田澤卓也

### 1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10/10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	8/10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ <b>不備</b> はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	7/10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	8/10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	7/10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	10/10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	17/20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	16/20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	88/100	

(注)週報の不備を，システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

## 2.理由

プロジェクト学習において、積極的に発言をしてメンバーとコミュニケーションをとって活動に取り組むことが出来ている。週報はすべて提出し、報告内容も十分書かれているが、毎週の提出期限については遅れて提出したものがあつた。グループ報告書はまだ完成していない。発表会については、動画で簡潔に活動の目的、進捗と今後の予定を伝えることができた。しっかりと準備を行うことができたと思う。しかし、質疑応答の時間をもう少し取っても良かったと感じた。アンケートからプロジェクトに対して期待を持ってもらえたことが分かった。先に書いたように、メンバーとよくコミュニケーションをとって、課題の設定、解決策の検討、議論を行うことが出来たと思う。プロジェクトに必要な知識のインプットの時間をもう少し取るべきであると感じた。計画性については、もう少しメンバーの間で作業分担をはっきりさせても良いと思う。プロジェクトの遂行に必要な知識がまだ不十分であるが、どのように学ぶことでプロジェクトの目的を達成できるかについてよく議論を行って成果を上げることを目指し活動が出来ていると思う。

## 3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名 : 小山内 駿輔

文書の作成が上手で、週報を書くときや知識の共有を行う時には非常に助かりました。  
また、情報の共有が迅速かつ確実で、非常に頼りになりました。

サイン 小山内 駿輔

コメンター氏名 普久原 朝基 :

話の要約が分かりやすかったです。  
よくまとめられていました。

サイン 普久原 朝基

## 3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二